

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「アズラック・シリア難民キャンプ内視聴覚力診断所の機材及び設備整備計画」
贈与契約書署名式典

2019年2月4日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施される「アズラック・シリア難民キャンプ内視聴覚力診断所の機材及び設備整備計画」のための87,319米ドルの贈与契約署名式典が実施されました。

本計画は、2005年以来、ヨルダン国内の脆弱な人々へ自立支援を行ってきて、2012年のシリア危機以降はシリア難民支援も行ってきた実績のあるNGO「国際キリスト教正教会慈善団体」が運営するアズラック・シリア難民キャンプ内視聴覚力診断所へ医療機材と患者輸送用の車両一台を配備することにより、主に脆弱性の高いシリア難民への医療サービスの質の向上に寄与することを目的としています。

同式典では、柳大使、ローレン・ハイアット・国際キリスト教正教会慈善団体ヨルダン事務所長が贈与契約書に署名し、大勢の式典出席者から日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。

大使の挨拶



事業説明の様子



贈与契約の締結



贈与契約の締結

